

退職者 NO.109-
こだま会報



憲法違反の「戦争法案」 は白紙撤回しかない

ご長寿おめでとう



今年度の「長寿祝制度」の対象者は119人（4月1日現在77歳・78歳の会員）で、定期総会には10人が列席され、終了後はあーすぷらざのレストラン「メルヘン」で懇親を深めました。

今号の紙面

- ・総会報告 …… ①～⑤
 第31回総会報告／植木代表代行挨拶／来賓挨拶／経過・決算・監査報告／方針／総会発言・答弁／物故者名／会則改正／新役員
- ・戦後70年に思う（新井通子さん） …… ⑥
- ・県職員九条の会「平和の集い」／懇親会 …… ⑦
- ・せいかつ短信 …… ⑧～⑭
- ・歴史教室／予告 …… ⑮
- ・こだま俳壇／絵手紙／薬膳料理教室／手作り文化祭案内 …… ⑯

神奈川県職労連退職者こだま会が第31回定期総会（6/27）

開会にあたって、植木眞理子代表幹事代行は、安倍内閣の集団的自衛権容認に基づく「戦争法案」の問題にふれ、「おかしいことはおかしいと、それぞれの場所で言い続けよう」「9条の会との連携など、力を合わせてがんばろう」



新方針を決め元気よくスタート

続いて、第1号議案「2014年度経過報告及同決算報告」（鳥居伸太郎事務局長）、同監査報告（谷村寛監査）、第2号議案「2015年度活動方針案」（仲戸川実幹事）、第3号議案「2015年度予算案」（酒井道生幹事）、第4号議案「会則修正案」（友井眞言幹事）、第5号議案「役員改正について」（青沼慶祐役員選考委員長）が提案され、討議のうえ、それぞれ大きな拍手で承認されました。

（2面に続く）

神奈川県職労連退職者こだま会は6月27日（土）、JR本郷台駅前にある「あーすぷらざ」で第31回定期総会を開催し、運動方針や新役員を決め、今年度の運動をスタートさせました。

午前10時15分、幹事の小島八重子さんの司会で開会。6月15日現在の会員総数1308人、出席会員50人、委員494人で総会の成立（会員総数の3分の1）を確認しました。

また、2013年4月に発足したこだま会の「長寿祝制度」の該当者（今年は4月1日現在79歳・78歳の119人）に記念品を贈呈したことを報告し、総会に参加されている該当者を紹介しました。

おかしなことは言い続けよう

(1面より続く)

参加者からは、知事選で岡本候補が66万票余も得票したことや、共産党県議がゼロから6人に躍進したこととの評価、新庁舎の耐震工事に伴い、食堂や地下売店が閉鎖されて職員福祉の福利厚生がないがしろにされていること、神奈フィル争議やかながわ共同会での不当解雇事件支援等の発言が続き、議案を補強しました。

総会後は2階のレストラン「メルヘン」で懇親会を開催。まず、神奈フィル争議をたたかう杉本正さんが争議支援をアピール。各テーブルでは、軽食をとりながら再会と健康を喜び合い、交流を深めました。

植木眞理子代表幹事代行の挨拶 (要旨)



の幹事代行 植木眞理子 代表

「安倍政治って何なのよ。絶対に許せない」——これが今日一番言いたいことです。年金・医療・介護など社会保障が、あちこちで崩されています。平和でなければ社会保

来賓あいさつ(要旨)



へ 県民本位の県政 神奈川県職労連書記長 杉田 厚さん

安倍内閣は何が何でも「戦争法案」を通そうとしている。政府の意に沿わないマスコミへの言論弾圧、沖縄の2紙をつぶす(百田氏)など恐ろしい話もでてきた。私たちは草の根から反対運動をとりくみ、その野望をつぶしたい。県職労連では、①公務災害、②神奈フィル争議、③愛名やまゆり園の不当解雇裁判を闘っている。ご支援をお願いしたい。

「戦争法案」は絶対に許せない

「戦争法案」を通そうとしては絶対守らなければなりません。本当に許せません。私は戦後生まれのナースです。私の親や連れ合

昨年の職員アンケートでは、黒岩県政を支持する職員はわずか8%だった。知事は特区をつくり事業を進めるといいますが、社会的弱者対策が置き去りにされている。ご一緒に県民本位の県政をめざしたい。



はノー ギャンブル誘致は 横浜市従退職者会会長 眞次英一さん

横浜市従退職者会は前会長の森田さんが病気で、私がバトンタッチすることになった。横浜市では、大阪の橋下市長にあわせたように、みなとみらい地区にカジノを誘致する話

障は進まない。戦争法案のニュースを見て、怒りまくっています。安倍さんは「平和」という言葉を並べて、何としても「戦争は血で汚さない」。これは「イイベント」などで会員のつながりを大切に、長寿者が喜ばれる社会を作っていきたい。高齢期運動や平和・脱原発・社会保障の充実を求めるとりくみを進めましょう。

もある。ギャンブル依存症が増える問題になる。何としてもギャンブル誘致をうち破りたい。秋の「手作り文化祭」では皆さんと一緒にとりくみ、成功させたい。年金引き下げ違憲裁判を進めよう



長 高齡期運動連絡会事務局 塚原信行さん

「一人ぼっちの高齢者をなくそう」「憲法を活かそう」と9月15日から16日、和歌山で日本高齢者大会が開かれる。いま、年金の個人情報が洩れ、大変なことになっている。私たちは年金が引き下げられたことに対して、11万人を超える仲間が不服審査請求をしたが、残念なことに却下された。今度は年金引き下げ違憲裁判を闘っている。低年金の人、無年金の人も多い。高齢者が当たり前の生活ができるよう、ご一緒に頑張りましょう。

各議案の提案

●2014年度経過報告(鳥居事務局長)



さん 文化レク活動 局長 鳥居(事務) 太郎 企画「てく・テクの会」の「福

ツアー」「開成町あじさいの里とアサヒビール工場見学」「秋の日向薬

師散策と黄金井酒造を訪ねる」を実施しました。趣味の会は、それぞれの会が継続的に活動しています。神奈川県自治労連退職者会主催の「手作り文化祭」には実行委員を送り、演芸、カラオケ、俳句、絵画、絵手紙、写真などに参加し、交流を深めました。

高齡期運動や平和とくらし、福祉・医療、民主主義を守る運動では、各種集会、県職員九条の会のとくくみ等に参加。神奈川県フィルの「杉本さん・布施木さんの解雇を撤回させる署名」や裁判傍聴などに参加。

福利厚生では健康チェックや人間ドックの拡充を図りました。「長寿祝制度」の2014年度該当者(4月1日現在78歳〜80歳)は158人で、お祝いのギフトカードを贈り、総会後の懇親会に招待しました。会員総数は2015年3月末現在1333人。2014年度の加入者は終身会員30人、年会員3人、終身会員への切り替え2人でした。

●2014年度決算報告(鳥居事務局長) 一般会計の「収入」では、年会費会員が70人、終身会員は30人が加入。「支出」では、「収入」の終身会費が予算額を上回りましたので、その額を積立金会計に繰り出しました。積立金会計の「収入」は一般会計からの繰入金と預金利息です。「支出」は予算と同じ額の執行です。



谷村 寛さん (会計監査)

帳簿等はしっかり管理され、適正に執行されていきました。経費削減の努力も

●2015年度活動方針(仲戸川幹事)



仲戸川 実さん (幹事)

2014年12月投票の総選挙は、投票率が戦後最低の52.7%。民意をゆ

がめる小選挙区制のもとで、自公の政権与党が326議席と3分の2を超える議席を獲得する一方、日本共産党が躍進し、安倍政権批判の受け皿になりました。沖縄では、保革を超えた新基地建设反対の共同候補が全選挙区で当選する歴史的な勝利となりました。

神奈川県知事選挙は40・72%の低投票率の中で、現職知事が219万5764票で再選。県職労連推薦の「平和で明るい神奈川県政をつくる会」の岡本はじめ氏は安倍内閣追随県政か平和と県民生活重視の県政かを訴え、66万5751票を獲得。統一地方選挙は、基本的に総選挙と同様の状況となりました。 安倍政権は昨年7月、集団的自衛権行使を容認する閣議決定をし、沖

縄新基地建设着手強行、日米軍事協力指針の改定等、アメリカと一緒に戦争する国へと暴走を加速しています。原発再稼働でも、原子力規制委員会の新規制基準に「適合」と認められた原発から再稼働するとしています。また派遣労働の拡大や解雇の自由化、「残業代ゼロ法案」などの労働法制の改悪で、4割を占める非正規労働者等、格差と貧困はいっそう拡大しかねません。

しかし、こうした安倍政権の暴走に対抗する運動は、反原発集会や「九条の会」「戦争をさせない1000人委員会」、社会保障の充実を求める「年金裁判」など、草の根からの運動が広がっています。

こだま会は、保健・医療・福祉・年金制度の充実や消費税増税反対、TPP推進反対、脱原発などの国民的な課題では、学習会や署名運動などを全国の仲間とともにとりくみます。「県職員九条の会」等と連携し、憲法9条擁護・平和をめざす運動を進めます。「文化レク活動」や「趣味の会」を充実し、仲間づくりを進めます。福利厚生では、共済・保険・人間ドック・健康チェック等の充実を図ります。会員拡大では、きめ細かく対応します。高齢者が生きいきと生活ができるよう、交流の場と仲間づくりを進めます。

謹んでご冥福をお祈り申し上げます(順不同)

塩島 照夫 様 75歳	清田 晴美 様 71歳	高橋 仁 様 84歳	松本 正治 様 68歳
安藤 博之 様 78歳	菅野 久米 様 83歳	松尾 良文 様 86歳	穂坂 輝夫 様 89歳
池田 とし子 様 86歳	木塚 義夫 様 84歳	木村 竹夫 様 81歳	藤田 博美 様 68歳
大宮 誠 様 77歳	平森 文雄 様 56歳	幡野 石根 様 76歳	熊沢 猛夫 様 83歳
河久 保矩 様 88歳	大木 寛 様 85歳	田中 幸男 様 82歳	高橋 幸子 様 80歳
伊藤 治 様 76歳	小山 春三 様 89歳	松崎 栄寿 様 80歳	栗原 節 様 85歳
倉若 正子 様 67歳	関谷 希一 様 89歳	石井 義宏 様 68歳	

2014年6月から2015年5月までにご連絡のあった方で、それ以前に亡くなられた方も含みます。



酒井道生さん (幹事)

●2015年度予算案(酒井幹事) (一般会計) 「収入」は昨年度の実績をふまえて予算化しました。積立金か

らの繰入金、長寿祝等の対象者約120人分にかかる約40万円を見込み、他の経費負担を考慮し、80万円としました。「支出」は、前年度決算をベースに組みました。増要素は事務局費としてパソコン1台分などがあります。繰出金について、終身会費は単年度で扱う性格ではないので、いったん終身会費収入分を積立金会計に繰出すこととして75万円としました。予備費は県職労連規定(3〜7%)を準用し約3・7%としました。



友井眞言さん (幹事)

●会則改正案(友井幹事) (積立金特別会計)「収入」は、一般会計からの繰り入れを前年決算額と同額とし利息を含め75万1500円としました。「支出」は一般会計に繰出した長寿祝い金(等)を含め80万円としました。

●会則第6条 (会員および会費)の改正を提案します。現行の会則は、年会費が30000円、永年会費が2万5

000円です。改正案は、「年会費は30000円とする。ただし、納入済みの会費が3万円に達した会員は終身会員とする」です。永年会費は現行のままです。

提案理由は、毎年加入を繰り返している年会員から、定期総会などで「年会員で10年以上経過した者は終身会員への変更をお願いしたい」等の発言があり、終身会員への要望が強いこと。そこで、年数によらず、納入金額で3万円以上になった会員は、自動的に終身会員にすることを提案します。

参加者の発言・意見



本山文子さん

いっせい地方選挙の評価について

昨年、みなとみらい地区で開かれた日本母親大会には、1万5000人以上の参加があり熱気があった。また、かながわ県民センターの整備に関連して会議室がなくなるのが報じられ、反対運動をし、議会傍聴もした。

知事選挙では岡本候補が66万票余もとった。いっせい地方選挙の結果は、総選挙の結果と同様とあるが、具体的な説明を。例えば、県会では共産党がゼロから6議席へ増え、期



鈴木三郎さん

職員の福利厚生を守るう

待している。

10日ほど前、県庁へ行った。新庁舎12階の食堂へ行くこととしたが、エレベーターはストップ。工事中で立ち入り禁止。地下のそば屋さんも3月で閉店。地下売店もシャッターが下りていた。本屋もない。お弁当も買えない。以前、組合が食堂や売店を運営していた。知事の姿勢はちよつとひどい。職員の命とくらしを軽視している。職員の福利厚生を守るために、OBとしても声を上げていこう。



湯川 勉さん

岩元さんの職場復帰支援を

「神奈川県議」の勝利へ向け、引き続き応援した。愛名やまゆり園の岩元さんが不当解雇された。交通事故で足を切断され、リハビリをへて、障害者を支援する仕事もできるようになり、復帰をめざしていた矢先だった。ここは、かながわ共同会が運営している。岩元さんの復帰を認めないのは問題だ。県の福祉、障害者に対する考え方もおかしい。当会として、岩元さんの職場復帰闘争支援の検討を。

発言・質問への回答

総会後の第1回幹事会(7月7日)での論議を経て確認したものです。

●全体的に：3人の会員からの熱のこもった発言に敬意を表し、運動に反映させていきたい。

●県の福利厚生事業：県の福利厚生事業の後退は残念。県職労連と連携し充実させていきたい。

●いっせい地方選挙の結果について：議案書作成の締切の関係もあって、詳細にふれられなかった。こだま会としては、会員の要求前進の視点でとらえる必要がある。

●岩元さん(かながわ共同会) 職場復帰のたたかについて：愛名やまゆり園(社会福祉法人かながわ共同会が運営)の岩元さんは交通事故に巻き込まれ、障害を負って休職している間に「休職期間満了」で昨年7月に退職扱いにされた。岩元さんは復職を求めて昨年11月、横浜地裁に提訴してたたかっている。こだま会として「かながわ共同会の障害者差別を許さず岩元さんの職場復帰をめざす会」に団体加入して応援したい。個人加入もお願いしたい。



青沼慶祐さん
(役員選考委員長)

役員改正について (任期は2015年・2016年の2年)

今年は2年に一度の役員改選期にあたります。恒例により役員選考委員会を設置し、「こだま会報」で公募するなどして準備を進めてきました。任期は2年(2015年・2016年)です。役員は下表のとおりです。なお、「主な担当」は総会後の第1回幹事会で決めたものです。

2015・2016年度の役員紹介 (敬称略・役職別・50音順)

役 職	氏 名	主な担当
代表幹事	植木眞理子(新)	全体の統括/県本部退職者会会長/「神奈フィルをよくする会」代表幹事
副代表幹事	青沼 慶祐(現) 友井 眞言(新) 仲戸川 実(新)	県本部退職者会事務局次長/文化祭 文化・レク/文化祭/県本部退職者会幹事 文化・レク/料理教室/県本部退職者会幹事
事務局長	鳥居伸太郎(現)	事務局の執行管理・会報編集委員・県高齢期運動連絡会幹事
事務局次長	小島八重子(現) 鳥海 敏雄(現)	事務局(組織)/文化・レク/ホームページ担当/「神奈フィルをよくする会」幹事/県本部退職者会幹事 事務局(会報編集責任者)
幹 事	秋中 一允(現) 虻川 弘子(現) 一杉 雄二(現) 稲本 春雄(現) 井村 友彦(現) 加瀬 文隆(新) 菊田 勲(新) 酒井 道生(現) 高木 信幸(現) 中嶋ひとみ(新) 並木まり子(現) 松尾佐知子(現) 本山 文子(現)	事務局(組織・共済) 会報編集委員 文化・レク 文化・レク 文化・レク/こだま句会/農業を楽しむ会 文化・レク 文化・レク 事務局(会計)/県本部退職者会会計監査 ホームページ担当 事務局(組織・共済)/文化・レク/会報編集委員 事務局(共済)/健康教室/文化祭 事務局(会計) 文化・レク
監 査	岩柳 良雄(現) 谷村 寛(現)	会報編集委員
相談役	加藤 利秋(現)	全国自治労連退職者連絡会事務局次長/中央労金横浜支店友の会幹事

こだま会報 編集委員	虻川弘子/新井通子/飯塚武弘/岩柳良雄/木村武子/鳥居伸太郎/鳥海敏雄/ 中嶋ひとみ
---------------	---

●退任された役員

副代表幹事	山本文子	幹 事	山本 裕
-------	------	-----	------

戦後70年ということで、雑誌、新聞、テレビ等で特集が組まれているが、60年、50年時より多い気がする。

親元を離れ、いつせいに 農山村へ疎開

敗戦1年前の夏、小学2年ぐらゐから親元を離れ、一斉に農山村への疎開が強制された。

基本的には個人で行き先を探すのだが、あてのない子は集団疎開として寺や旅館に教師ともども移った。

そこでの苦労話は、食物がなくて歯磨き粉を舐めたとか、部屋が狭くて寝苦しかったとか、勤労奉仕が大変だったとか、さまざまあるが、辛さのあまり脱走して途中、駅で捕まったとかは、あちこちであった。

なかには夜出発し、歩いて逃げ、翌日の夜中にふらふらになって家に着いたという話もある。

いじめはなかったが 物のないのには閉口

私自身は縁故疎開で、いいいじめられることもなかったが、とにかく物のないのには閉口。食物が

なくて、家畜の餌にする穀かすまという小麦の皮をまるめて焼いた物を食べたけど、食料は戦後の方がもっとひどかった。

日本は資源がなく、輸入が跡絶えたため、まずゴムがなくて運動靴がなくなり、学校の上履きは竹の皮で

戦後70年に思う

ないないづくしの 学童疎開の頃

新井 通子



学童疎開

なったものを、専用のサックにはさんで使った。

一番大変だったのは紙。疎開する時に手もとにあった藁半紙をとじたノートに日記をつけていたが、ちり紙がなくなって破って

苦労。

しかし、疎開していて直接空襲を体験していないので、家族にも苦労は語れない。

当時、6歳の妹は、4歳の弟の手を引き、祖母と出産を控えた母をかばいつつ、焼夷弾の降るなか、遺体をふみ越え、防空壕へ避難し何とか助かっている。その話を娘にしたら、ベトナム戦争をテレビで観すぎて、そんな気がするだけではと言われ、誰にも話さなくなった。

経験を伝えるのは 難しい

『ガラスのうさぎ』を見た時も、「とてもあんなものではなかった」と言っていた。
経験を伝えるのはとても難しいものである。

疎開者を受け入れた側であり、空襲にも会わず、食糧難も知らない人やその子孫が、戦後、墨を塗らされた部分を復活させるような育鵬社等の教科書採用に躍起になっっているのだろうか。

幸い、高齢者が語り出したり、本を出したりしている。知る、知らせる努力が必要と思う。

編んだ草履、雨靴もないので、子どもの膝上まで積もった雪の上を、下駄でこけつまろびつ歩いた。

消しゴム・鉛筆、そして 何より紙がない

消しゴムがなく、鉛筆は小さく

なごやかに懇親会

定期総会后、あーすぶらぎ内のレストラン「メルヘン」で懇親会を開催。長寿祝い対象者（10人参加）をお招きし、交流を深めました。「楽しい総会だった。来年も必ず来るよ」「それにしても、安倍晋三首相の政治の話を知ると、心臓が悪い」と笑い飛ばす会員も。軽食をとりながら2時間近く、なごやかに懇親会は続きました。写真撮影：友井真言さん



なごやかに懇談



神奈川フィル争議を闘う杉本さん 地域の運動を話す新倉仙太郎さん



こだま会の3人娘



軽食をとりながら交流



国会包囲行動に参加した県職労連や県職員九条の会の人たち

神奈川県職員九条の会は6月17日、「平和の集い」を横浜市健康福祉センターで開催。講師は弁護士（自由法曹団）の浅川壽一氏で、テーマは「安全保障法制と憲法をめぐる情勢」。参加者は初参加の人や久しぶりの人など22人。緊迫した情勢を反映した「集い」になりました。

今回の集いは、「集団的自衛権行使が出来るように、関係法をまとめて改正する」「夏までにやり上げる」

世論の力と地域の運動で戦争法案は必ず廃案へ

県職員会「平和の集い」
九条の会

とアメリカ議会会で約束した安倍首相と与党の自民党・公明党が、強硬に審議を進める中での開催となりました。

安全保障関係法案を資料に、「戦争法案を真正面から解説します」と

とアメリカ議会会で約束した安倍首相と与党の自民党・公明党が、強硬に審議を進める中での開催となりました。

安全保障関係法案を資料に、「戦争法案を真正面から解説します」と

行使は必要との声があるが、「自治体職場への影響は」などが出されました。講師は「日本周辺での事態は個別的自衛権で対応でき、集団的自衛権は不要」「民間業者にも戦時協力が必要される。自治体職員も関わることになる」などと答え、具体的に内閣支持率40%を割る

学習会後の「戦争法案」をめぐる情勢は大きく変化。7月15日、衆議院特別委員会が自民党・公明党が強行採決し、翌16日には衆議院本会議で採決しました。

しかし安倍首相自身が、「国民に十分理解されていない」と認める状況下での一方的な採決に、世論調査では「説明が十分でない」80%、「反対」60%など、大きな反発が広がっています。安倍内閣の支持率も「不

支持」が51%（共同通信）と「支持」38%を大きく上回っています。連日の国会周辺の抗議行動は数万人単位で行われ、戦争体験者をはじめ、青年・学生や「ママの会」などの行動に広がっています。地方議会も300を超える議会で「法案撤回」「慎重審議を」の決議があがっています。

「安保法案」は、条例と違って「自然成立」はありません。参議院で与党の強行採決か、「衆議院での3分の2の多数での再議決」がなければ成立しません。世論の力と地域の運動で安倍政権と与党を追い詰め、廃案にすることは可能です。地元の参議院議員に「戦争法案に反対を」と働きかけることなど出来ることをはじめましょう。

（神奈川県職員九条の会事務局長 佐伯義郎）

定期総会への出欠はがきに寄せられた「短信」をお届けします。掲載者は171人。「こだま会」への要望をはじめ、元気で勤めの方やボランティアに励む方、ゆったりと生活を楽しむ方など、本当に喜ばしい限りです。地域での高齢期運動や「九条の会」等でご活躍の方、闘病中の方も見られます。紙面の都合で「幹事の皆様、ご苦労様」「総会の成功を」などの趣旨は、割愛させて頂きました。また文意を損ねない範囲で、一部省略させて頂きました。

(順不同・敬称略)



岸 靖之(大和) 「戦争法案ス
トップ!」「九条壊すな!」と大和
の共同行動の会が発足しました。改
(壊)憲の国民投票勝利を展望して
共同行動を広げに広げるつもりです。
阿部毅正(横浜) 町内会長を受
けて5年、次の引き受け手がない。
町内祭り、手伝う人が減少。若い人
がいない。自治会町内活動は「い
ざい」というときの助け合いの原点
なのに。

遠山 淳(千葉県茂原市) 愛犬・
愛猫の世話と庭いじりで毎日を通
していますが、犬の拒食症の原因が
判らず困っています。東大病院、C
T、MRIも。犬の精神病でしょう
か。

千野 鋼(横浜) 長寿のお祝い
品、ありがとうございます。心よ
りお礼申し上げます。

宮本四朗(海老名) 92歳、体調
不良。ご盛会を祈念します。

小山田洋志(秦野) 『会報』を楽
しく読ませていただいています。間
もなく喜寿、年なりに元気でいま
す。

山本秀実(長野県飯山市) Uター
ン3年目。2014年5月号の『こ
だま会報』で近況を掲載していた
き、その後も元気に「里山資本主義」
的生活をしています。血糖値も現職
時代に比べて平常値となりました。
ストレスを強く感じているOB・O
Gの方、里山生活をお勧めします。
ぜひ我が北信濃へ。空き家も紹介
します。ご一報ください。

鳥居喜代(横須賀) 横須賀はあ

まり住み良くないので、実家のある
千葉県の九十九里浜に帰ろうかと
思っていたところ、情勢が変わって
きているので、しばらくこのまま住
んでいようかと思っています。

石田啓子(横浜) いつも『会報』
をお送り下さり有難うございます。
楽しみにしています。まだ週一日だ
けの勤務ですが、今は夏休みの自由
研究というような感じで楽しく働い
ています。やりたいことは色々あり
ますが、段々とスローペースになっ
てきました。それもまたよいかと
思っています。

二宮キク代(大和) いつもお世
話になり、感謝申し上げます。自宅
の廻りや地域の事に出席していま
す。おかげさまで健康です。

吉井 進(東京都渋谷区) いよ
いよ名前だけの会員になるようで寂
しい気分です。それでも生きてい
るうちは、こだま会にお世話になっ
たことを忘れない。特に印刷物に少
しでもお役にたてたことは忘れ得
ないことです。

稲垣和成(平塚) 毎日、ラジオ
体操、犬の散歩等、元気で過して
います。

川村キサ(横浜) こだま会を支
えていただいている役員の皆様、ご
苦労さまです。『会報』の届くの
を楽しみにしています。私もはや八
十路の坂を超え、地域のシニア体操
やサロン等に参加し、元気に過して
います。

石原健二(東京都目黒区) この

10月で後期高齢者の年金生活者とな
ります。年相応に全身にガタがきて
いますが、週一回のヘボ碁はなんと
か続けています。それから朝10分間、
テレビ体操を続けています。

伊東 久(秦野) 憲法九条擁護
の運動により一層のお力添えをお願
いします。何かできることあったら
指示してください。

小林滋樹(厚木) いつもご親切
に『会報』などの連絡をいただき、
深く感謝しています。小生、現在85
歳。元気で地域の仲間と楽しんでい
ます。

岩本 光(大磯) 鳥獣戯画展も
会期終盤。平日ならと穴場を狙い出
かけましたが大変でした。大修復の
機会を生かした展示。「さぞや」と
思いましたが長蛇の列。3時間待ち、
高齢者にはキツイ待ち時間でした。
見終わったら夕方方をすぎ、帰宅は
ラッシュ。湘南電車も上野東京ライ
ンになり苦楽の一日でした。

三宅杏子(厚木) 奥津弘久さん
の絵手紙を、いつも拝見しています。
河原のラジオ体操で一日が始まりま
す。

松本吉弘(横浜) 元気で地域の
住民運動をやっています。

倉田直亮(藤沢) 新しく会員に
なりました。よろしく願います。
3月に48年のサラリーマン生活を終
え、今は第2の人生(城めぐり、野
菜・草花の栽培等)を楽しんでいま
す。在職中は何かと県職労にお世話
になり、有難うございました。

来年も懇親会で会いましょう！



中村桂子(静岡県静岡市) 万緑の候、いかがお過ごしでしょうか。さて折角の通知ですが、アルバイトのケア施設が手不足で抜けれられませんか。ケア施設も老老介護といったところですよ。会員各位のご健康とご活躍をお祈りします。

戸田晴美(川崎) 昨今の頃は退院したばかりで、友人に泊まってもらっていましたが、忘れたように元気になることができませんでした。フランダースを続けていたからだと思います。私たちの会にぜひどうぞ。先

生は県庁内にいらっしやいます。

玉井アツ(相模原) 定年後15年、自分の健康に感謝です。毎日の楽しみは畑のナス、トマト他の栽培です。小越信子(横浜) 体力、気力のダウンを痛切に感じる今日この頃です。

芝 忠(横浜) 中小企業者の生活と権利を守るために毎日奮闘しています。世の中を変えるには、中小企業の従業員や経営者との連帯が不可欠です。幅広い戦線で頑張ります。北岡 学(横浜) 物忘れが激しく、薬を飲んでいきます。

田中明男(横浜) 毎日元気で送っています。

千島ミツ子(厚木) 情けないほど体のあちこちに故障がみつかり、検査や治療で病院通いが多くなりました。合間をぬって「戦争法」反対、

メーカー、平和行進、消費税中止など可能な限り参加しています。県職労の現状も気になって、近くの合庁に伺ったりしますが厳しいようで、外からながら気がかりです。小笠原勇(寒川) 満84・5歳になりました。外観だけはいったって元気ですが、体の衰えは争えません。当分は現状のまま、世の中の変化を見つ

めて行こうと思っています。

榎本勝雄(藤沢) 日本スキー指導者協会の総会が先に決定されており、総会には欠席させていただきます。役員の皆様大変ご苦勞様です。まだスキー団体の運営で頑張っています。

茨木三智夫(厚木) 退職後、早、10年が過ぎました。何とか元気に過ごしています。

大石勝彦(静岡県伊豆市) 相変わらず日本のユリの開発・研究で忙しい毎日です。明日(日27年5月25日)は、マドンナリリーのプロモーションビデオ撮影のため、久々に横浜の結婚式場に行きます。

栗飯原 茂(秦野) 山行と写真撮影をがんばっています。最近腰痛がみで山行は減ってきました。2回目の個展(山岳写真)を来年少たいと考えています。

片木和雄(小田原) 腰痛で歩行できません。不自由な体です。

大澤常雄(横浜) なかなか実にならない韓国語教室に通っています。第2、3土曜日が教室です。

鈴木恵美子(横浜) 現在、再任用で同じ職場に勤務し、3年目になりました。来年にはなくなる職場なので、次は民間でもう少し働こうと思っています。根が貧乏性のようにです。

家城レイ子(小田原) だんだん視力が落ちてきて、一人歩きができません。1日先の人の顔もわからないので困っています。

佐藤 肇(厚木) 大分年をとり(昭和3年7月17日生)、健康のためと仲間づくりに、グラウンドゴルフで楽しい日々を送っています。

鎌田利治(相模原) 安保大転換の時になりました。このまま対米追隨で行くことは危険です。老骨に鞭打って、地元「九条の会」でがんばります。

小林平治(藤沢) 少ない年金で夫婦2人の生活です。孫も5人になり、いろいろな行事の出費に四苦八苦しています。運動会、週一回の孫のスイミングの送り迎え、新聞のチラシを見ながら安いスーパーでの買い物等で、どうにか健康を維持しています。

山崎重夫(横須賀) なんとかばけずに生きています。近所の同年代の人がいなくなると寂しい時代になってきました。こだま会も顔見知りの人がいなくなると、足が遠のきます。

金子 充(東京都品川区) NPOかながわ総研での活動と老親の介護、孫の面倒をみる日々を送っています。

阿左見彰子(横浜) 『こだま会報』はいつも楽しく読ませてもらっています。

野村晴男(横須賀) 学校警備員に従事しています。

宮手多助(藤沢) 役員の方、ご苦勞さまで。すべてよろしくお願ひします。(95歳)

小川晃司(箱根) 退職して11年

が過ぎました。幸せな余生を箱根山中でのんびり過ごしています。

山口 茂(秦野) 妻と2人で、元気に畑仕事で頑張っています。76歳です。

北村紀男(秦野) 今年度中に後期高齢者の仲間入りをします。現在老人ホームのお手伝いと老人会等の役員の仕事で、忙しい毎日を送っています。

西岡 勉(宮城県大崎市) 長寿のお祝い、有難うございました。

高橋行雄(逗子) なんとかやつております。

吉谷英子(相模原) お便りありがとうございます。

小澤ミネ子(中井) 長寿祝品、ありがとうございます。好きな民謡と菊の三本立てを楽しんでいます。腰を曲げながらも、農業に花壇の手入れに忙しい毎日を送っています。『会報』をいつもありがとうございます。平和な世の中になりたいものです。

秦 正喜(海老名) 県を退職して25年、再就職(県農業会議)を退職して21年になりました。毎日庭いじりなどで過ごしていますが、時折「ゆめくらぶ」の行事にも参加しています。なお、地域の認可保育園、学童保育の評議員をやっています。

金原健一(相模原) 「安保健法」に、はっきりと反対します。

小出 純(秦野) 思いがけず長寿のお祝いをしていただき、ありがとうございます。

井坂房子(横須賀) 退職して早13年目、少しずつ後期高齢者に近づいています。おかげ様で今のところ健康なので、いろいろな事ができることをうれしく思っています。昨年は息子が県会議員に、婚が市議に立候補と書きましたが、皆さんの応援を受けこの4月、2人とも当選させてもらいました。今後は県政、市政を良くするために働いてもらいたいと思っています。

赤沼 肇(藤沢) 長寿祝、ありがとうございます。『会報』の「おすすめの一冊」の購入など有効に使わせていただきます。酒と薬のおかげで一応元氣です。

小林節子(横浜) 保育園の総会と重なりました。色々な行事に参加できなくて残念です。

植木政光(秦野) 私の次兄が、川崎の地酒専門「内阪屋酒店」で、おいしいお酒を飲みながら楽しくもつくりを行い、この秋、東京での個展に向けて熱く燃えています。神奈川県テレビに作品が紹介されました。

佐田浩子(横須賀) 長寿お祝いの品、ありがとうございます。突然のお祝いの贈り物でびっくりしました。とてもうれしかったです。これからも元気に暮らしていければと思っています。

天羽忠子(寒川) 『こだま会報』等、いつもお世話になります。「今日行(キョウイク)」に励んで、毎日忙しく動いています。月1回ですが、本職助

産師として、妊婦さんの母親学級をしています。また健康のためにグラウンドゴルフ・ペタンク・油絵・詩吟と、休む暇なく動きまわっています。旅行もやめられませんが、今年度はミャンマーに行ってきました。

竹原 仁(三浦) このたびは、長寿祝をいただき、誠にありがとうございます。いつも『こだま会報』を楽しみにしています。

松村花江(相模原) 長寿祝をいただき、ありがとうございます。

斉藤美門(大和) 長寿祝品、ありがとうございます。

高橋トシエ(伊勢原) 闘病4年になり、介護保険も自立となり、日常生活も不自由なく、活動も少しずつ始めています。加齢もあるので無理せず、疲れたら休み、様子をみながらゆっくり進めています。夏がくれば73歳になります。

村崎亮一(横浜) 5月3日、みなとみらい公園で開かれた、憲法を守り、反原発の3万人集会に参加した。大江健三郎さんが、安倍君のアメリカ議会でのスピーチを鋭く批判していたのが印象的だった。

大角淑枝(藤沢) 栄養士として、国際菜膳師として、身体にやさしい食生活を心掛けています。長寿祝、ありがとうございます。健康のため使わせていただきます。

根道明子(千葉県佐倉市) 長寿祝、ありがとうございます。大切に使用させていただきます。『こだま会報』は楽しく拝見しています。

菊田 勲(藤沢) 今年度もまたまた町内会の役員となり、いろいろな行事を進めなくてはなりません。6月27日は地引網大会のため、こだま会総会は欠席させていただきます。

木村秘子(横浜) 長寿祝、ありがとうございます。退職後、私は大学の科目履修生として平成18年に入り、毎日楽しく励んでいます。新しいことを知ることの喜びを味わっています。

菊池秀行(横浜) 父と母が6カ月以内に続いて他界し、引越しや不動産のことなどで、多忙な毎日を送っています。

清水敬一(横浜) 70年前、私は東京渋谷に居住し、中学2年生でした。3月に学校が、5月に2回連続で自宅と避難先が全焼し丸裸になりました。その後70年、戦後の混乱のなかで両親の苦勞の果てに成人し、今やよぼよぼの老人となりましたが、大声で「安倍さん、戦争はよそうよ！」と叫びます。

木村 稔(横浜) 長寿祝をいただきありがとうございます。医者通いが多くなりましたが、何とか日常生活を過ごしています。

榎田富久子(横浜) 今年3月、喜寿の春を迎えました。高齢化社会にあつては、まだまだ長寿の自覚もございませんが、ただ第3者の方々からの長寿お知らせにより「そうなのだー」と思うこの頃です。お礼のご挨拶が遅れましたが、この度は思いがけない長寿のお祝い品をご惠贈

いただき、ありがとうございました。毎日を大切に生きて行こうと思いません。

田中和子(秦野) 今年の誕生日で米寿になります。外歩きは不自由ですが、身の回りのことはできるので、幸せです。朝は新聞をゆつくり読み、出納簿はきちんと整理して、夜は忘れずに日記を書き、規則正しい日課が、認知症の予防になっています。達者でいられる日々を大切に暮らしたい。

廣田 茂(秦野) 昨年10月末日にバイク事故で左鎖骨を骨折しましたが、現在は回復し、テニス、バドミントンに熱中しています。

山田経行(横須賀) 東海道、中山道、甲州街道に続き、今年は日光街道を踏破しました。引き続き奥州街道を歩いて、五街道制覇をめざします。

川添国義(平塚) 元氣です。

桜井哲雄(平塚) 年齢相応の運動に努めています。菜園のじゃがいもの収穫が楽しみです。

高木みどり(横浜) 6月28日にハイドン オラトリオ「四季」の演奏会(於:杉並公会堂)があります。

ハイドン69歳の作品で、四季に人生を重ねています。歌うごとに元気を貰っています。公演会費を担当し、チケットの販売状況に一喜一憂しています。「日本国憲法の初心―山本有三の『竹』を読む」。鈴木琢磨編著・七ッ森書館。みなさんにおすすめしたい本です。図書館で借りて読めま

す。

船橋まさ子(横須賀) 歩行困難なため、総会には欠席いたします。

加藤房尾(海老名) 昨年6月、臓器疾患をし、飲食物を厳しく制限されていますが、軽い運動は良につき、地元の幼馴染みたち(爺・婆)と「ターゲット・バードゴルフ」と「カラオケ」を楽しんでいます。

高橋永子(沖縄県石垣市) 『こだま会報』、いつも読ませていただいております。ツアー等、なつかしく思い、行ってみたいと。でも今は沖縄の石垣島にいますので、少し遠すぎて、『会報』でふるさとをしのんでいます。

野澤秀子(二宮) 一人暮らしをしています。民生委員を引き受け、地域とのつながりを保っています。若者や高齢者など、生活が苦しい人たちが多くいて、心が痛むことが多々あります。

宇田川晃(秦野) 長寿祝、ありがとうございます。

西原明夫(二宮) 卓球協会、体育協会等の役員をして、元気にしています。

佐々節子(平塚) この度は思いがけない長寿祝をいただき、大変恐縮しています。ありがとうございます。『会報』は毎回楽しみに拝読しています。皆様方の元氣なご活躍振り、また多面的な視点で関心を持って活動をしていられるご様子に陰ながら応援しています。私自身、体調がすぐれず、健康管理につとめ

ながら、精一杯頑張っている次第です。

今村幸美(横須賀) 家の中で転び、歩行困難となり、ベッド上での生活が多くなりました。通院も車椅子付きの介護タクシーを利用していきます。

宮地紀彦(横須賀) 『こだま会報』を開封した折り、分厚いものが感じられ、開けてみると長寿祝の品が入っており、びっくりしました。感謝して使わせていただきます。趣味として、水墨画を学んでおり、墨のかすみ、にじみ、濃淡等を生かした作品の創作に励んでいます。

富田幸子(小田原) この度は、長寿のお祝いをいただき、ありがとうございます。昨今の政治情勢で、「戦争はだめ、やっつけない」ことを後世に伝えなくてはとの思いでいっぱいです。

* * *

戦争に翻弄され、国民学校(当時)1年生から、3年生の昭和20年8月15日までに転校を3回。農家の麦刈り、ジャガイモ掘りなど勤労奉仕に励み、「日本は神風が吹く」とか言い、竹槍、バケツリレーの日々でした。

昭和20年8月15日終戦。栃木県那須より、疎開期間5カ月で小田原に、父の知人を頼って、小さな借家に引っ越して来た。父や母も大変な苦労があったと思います。

上野から小田原に向かう。上野の地下道で、たくさん浮浪児(者)に驚き、やっつこの思いで列車に乗る。

車外は一面の焼け野原。列車のなかで、身体中真っ黒で目だけが異様に光り、真っ黒の手が、私の目の前にいきなり突き出されました。疎開先から、おにぎりを弁当として持参していたのです。その時、私はどうすることもできず、その光景がいまでも私の心を痛めています。あの時の12、13歳の子どもたちは、無事に成人したのだろうか、私の心は痛みます。

私の家は、戦争により一人も欠けることはありませんでしたが、家をなくし、あちこちと翻弄させられ、戦争さえなければと強く、強く思います。若い人たちにこの思いはさせてはならない。戦はしてはならない。戦争はダメです。

込山昌士(伊勢原) 長寿の祝い、有り難くお礼申し上げます。

増村一夫(千葉県大網白里市)

このたびは長寿祝をいただき、誠に有り難うございました。生前にいただけで喜びもひとしおです。八十路近くになると、気力や体の衰えが訪れます。私も2年前に胆石で胆のう手術後、脳梗塞や心臓が悪くなり、気力が後退。いまは1日1日を目標に頑張っています。

田辺恵子(相模原) いつも『会報』、ありがとうございます。

三浦瑛一(東京都町田市) 思いもよらず長寿祝品をいただき、誠にありがとうございます。80歳を間近かに控え、もうこんな年になったのかと、つくづく感じるこの頃です。

長寿だった両親に負けないよう、これからも頑張りたいと思います。

内堀 晃(藤沢) このたびは長寿祝をいただき、ありがとうございます。小生、つつがなく過ごしています。

阿部 豊(相模原) 県職労県央支部の手伝いで、厚木合庁へ。また段ボール堆肥づくりを楽しみながら家庭菜園の真似事、自治体や大学の生涯学習講座の受講と、日々過ぎていきます。

吉田綾子(逗子) 相変わらず竹友と時々南相馬へのボランティアの他、湘南国際村内の農家の援農や、友人宅の庭の草むしり等々、地面に触れていると、生きている、生かされていることを実感します。体が続く限り、日々笑顔でいたいです。

田中 譲(福岡県小群市) 今年のだま会総会はJR「本郷台」駅のそばで開催されるという案内が届き、なつかしいです。藤沢土木事務所へ勤務していたころは、新杉田駅が出発駅でした。いちち川で護岸工事をしたことを思い出しました。

松村美知子(大分県速見郡日出町) ふるさとの生活もすっかり地について、日々何とか元気に過ごしています。

小野弘子(横浜) 長寿祝をいただき、ありがとうございます。年相応に頑張って生活しています。『こだま会報』を楽しみにしています。

石田 昊(中井) ぼちぼちやっています。

伊藤りつ子(横浜) 戦後70年、安心して暮らしてきました。平和憲法のおかげと考えています。今の憲法を大事に、大事に、守っていかなければと思っています。

青木 勇(平塚) 今年、83歳になります。家内が病気のため、家事が忙しい毎日です。あいた時間は、ゲートボールで近くの公民館のグラウンドで楽しんでいます。

牛尾隆幸(逗子) 『春秋左氏伝』全3冊(岩波文庫)と『書経』全3冊(明治書院)及び『史記』全8冊(ちくま学芸文庫)、『新訂中国古典選』10〜12全3冊(朝日新聞社)、『史記列伝』全5冊(岩波文庫)、『史記世家』全3冊(岩波文庫)が面白い。はまっている。

上田豊子(富山県砺波市) 元気に過ごしています。俳句、筋トレ等を楽しんでいます。長寿祝品、ありがとうございます。有効に使わせていただきます。

小川揚之輔(横浜) 長寿祝をいただき、ありがとうございます。

鶴田賀陽子(横浜) 私流、健康長寿を心掛けていますが、気象の異常には少々まいる高齢になりました。いま私にできることは、健康長寿で戦争反対を叫んでいくことと考えております。5・3憲法集会にも参加、3万人の一人でした。

名木幸男(秦野) 大きな政党と、多数の弱小政党の組み合わせはいかなるものか。この解消はいつごろになるのか。老い先短い者にとっては、

先々気になる。

若林康信(相模原) 最近の自分は、足腰が弱り、遠くへ出かけることができなくなりました。

平能芳子(横浜) いつも『会報』を楽ししく読ませていただいています。年を重ね、体調があちこちいまいちです。

佐藤七夫(相模原) 年齢相応の健康体です。相変わらず老人福祉施設(コスモセンター)の運営にかかわっています。

湊 ふみ(横須賀) いつも『こだま会報』ありがとうございます。退職して何年もたちますが、楽しく読ませていただいています。

小川喜久男(横浜) 長寿祝をいただき、ありがとうございます。これからも健康管理にとめます。

田島幸子(横浜) この度、長寿祝品を頂戴致し、誠に有り難うございました。地域で日々忙しく動き回っていると、己の長寿の実感もなく、頂戴したことに少し戸惑いを感じています。健康長寿を願いつつ、これからも元気で生きて行く所存です。

日原 輝(横浜) 脳梗塞で入院して8年。リハビリ中で、相変わらず変化なしです。

伊東祐孝(東京都大田区) 変わっています。年相応に。

渡辺雄之介(平塚) 今年1月から5月までの間、10回の市民マラソン大会に出場し完走しました。記録は落ちる一方で、沿道の声援も「お

父さん頑張れ」から「お爺さん頑張れ」に変わってきましたが、無理をせず生涯続けたいと思っています。

田中 恵(茅ヶ崎) 長寿祝、ありがとうございます。

米持 汎(秦野) 故郷の松の山街道、信越関田山脈を歩きました。現在、四国遍路を歩いていきます。阿波、土佐を終わり、この秋、伊予讃岐を歩く予定です。美しい四国の風景を堪能しています。

塩沢徳夫(相模原) 長寿祝をお贈りいただき、誠に有り難うございました。近くの市立横山公園に毎朝行き、6時30分からNHKのラジオ体操を続けています。

川瀬 博(愛川) 長寿祝をいただき、誠に有り難うございます。小生、毎日元気に暮らしています。「杖かりて八十路峠に汗背負う」。そろそろです。

今木恒郎(小田原) 喜寿を迎えてから1年の間に、心房細動、白内障、腰痛と、立て続けに発病し、落ち込んでいましたが、思いがけず長寿祝をいただき、少し気が晴れました。

戸塚 忠(静岡県三島市) 喜寿になつて20年以上前の腰部脊柱管狭窄症が再発しました。水泳や自転車には何の障害もないのに、近ごろは歩くだけでも右脚が痛みます。腹背筋肉等の強化により、バランスを取り直して、腰椎と仙骨とのずれを矯正したいものです。6月のトライアスロン大会にはもう間に合わないかも。

高田量介(横浜) いつも『こだま会報』のご送付など、ありがとうございます。

鈴木志げ子(鎌倉) 今年の11月の誕生日に米寿を迎えます。最近とみに年齢を感じる年になりましたが、前向きにアンテナを高くして生きていきたいと思っています。

平田 清(厚木) 長寿祝いのサプライズ、ありがとうございます。

神戸純成(厚木) 昨年8月、傘寿を迎えました。本当の爺様方へ仲間入りしました。身体も大分弱ってきていますが、まだまだ元気です。まずは健康が第一です。そのために、正しい生活を維持することに心掛け、野菜作りに精を出すとともに、折を見て好きなカラオケに仲間とともに罵声を張り上げています。

高橋精治(秦野) 相変わらず民生児童委員や、明るい選挙の推進委員活動で多忙な日々を過ごしています。

登坂克男(秦野) 鉢物園芸と農作業の毎日です。

矢部市太郎(横浜) 歩行が困難な状況です。

星 一江(三浦) 長寿祝の品、ありがとうございます。

松村久代(厚木) 心臓の手術をして10年余、毎日ウォーキングを続け、体力維持に努めています。今回は長寿祝品、恐縮です。有り難くいただきます。

服部千代松(海老名) 長寿祝品、頂戴しました。有り難うございます。

間杉鶴男(南足柄) 長寿祝品をいただき、ありがとうございます。

鈴木 昭(川崎) 私事、特に変わりはありません。

小島信明(座間) 高齢の体にむち打ち、妻の介護に元気で頑張っています。『こだま会報』を楽しみにして待っている一人です。



話がはずむ懇親会

市川 清(大和) おかげさまで、元気で生活しています。日頃はグラウンドゴルフに参加し、体力の維持に努めています。

戸村五郎(大磯) みなさまによろしくお伝えください。

岩井秀子(横須賀) お世話になっています。

木村 昇(埼玉県久喜市) 昨年NISAで購入した株に含み前が出たので、手数料がかからないイン

ターネット証券会社へ変更して、NISAで日本株式を購入し、減額する年金を補う計画です。

今村節子(横浜) この度は長寿祝をいただき、ありがとうございます。

叶井進一(横浜) 一年一年、歳月の流れが速すぎる。身体が疲れやすくなつて、体の力強さも急に変化する。朝の目覚めも変化して、我ながら何でこんなに弱くなったのか、外出もすくなく出掛けにくくなる。出歩くのもだめになり、昔の若さに戻りたいが…。

太田 顕(相模原) 今年の2月頃から膝痛が始まり、相模メーデーに参加できず、筋トレをしながら、改善に努めています。7月26日の相模湖ダム追悼会に参加します。

笈川和男(横浜) 「乗り鉄」愛好家として、気ままに暮らしています。3月にポルトガル、4月に札幌、6月に九州一円など。

小松繁子(横浜) 昭和3年2月生まれの母と、昭和26年4月生まれの娘(私)との語り合いができなくなり、母の笑顔、声がいなくなり、お母さんに感謝です。

鳥居千珠子(東京都大田区) 元気で相変わらず忙しくしています。もう少し日々のゆとりがあればいいと思いつつ、「戦争する国」にしないよう頑張らざるを得ません。地元「九条の会」も元気です。

小川達子(横浜) 相変わらず元

気で、家事に追われ、外に出ることも多く、毎日忙しく過ごしています。

終澤 覚(相模原) 昨年はこだま会の懇親会にご招待いただきありがとうございます。相も変わらず、グラウンドゴルフで過ごしています。

張戸寿典(寒川) 今年、介護保険証が届きました。これから老人の仲間入りです。

新倉仙太郎(三浦) 趣味活動で、こだま会の歴史教室に参加しています。他に年金者組合にも加入しています。三浦支部に健康マージャンサークルがあります。先日大会がありました。参加者は16人。調子が良くて優勝しました。日頃、酒飲まず、煙草吸わず、お金儲けずで練習してきたのが良かったのかな。今後も認知症予防のために続けたいと思います。

辻村 博(茅ヶ崎) ここ数年、冬の北八ヶ岳の樹林帯を歩いてい。年齢、体力、技量を考えたうえでも、まだ楽しめる雪山としては最適かと思う。この冬は3回も。とくに2月の麦草峠の山小屋では、赤々と薪ストーブが。一歩外に出れば、幻想的な白銀の大雪原である。

米山東伊(横須賀) 恩師の石山先生が元気で100歳になりました。いまでも卓球をやり、パソコンを操作し、カラオケを楽しんでいます。私もあやかりたいと思っています。

札木 繫(茅ヶ崎) 私は現在、湘南の茅ヶ崎市内に住んでいます。

趣味はボウリング等のサークル活動に参加しています。

宮澤恭子(茅ヶ崎) 報酬や給与をもらっての仕事は一区切りをつけ、少しは自分の時間を作りたいと思いきや、国会の動きがにわかには争への国づくり。私は、福祉と戦争は相入れないとこだわり続けて、命と生活を守る運動に心を新たにしています。

吉澤靖夫(藤沢) 今年73歳になります。いままで入院するような病気にかかったことはありませんが、そろそろどこか悪い部分が出てくるかもしれない。入院1日5000円の医療保険に入ることになりました。

生方武羅夫(横浜) 憲法9条を破壊する「戦争法案」の審議が国会で始まりました。何としても阻止したいと思っています。5年前、こだま会で『つたえたい想い』を出版しました。戦争体験を若い世代の人たちに伝え、平和を守る運動を進めていきたいと思っています。

後藤貞夫(横浜) 『東京新聞』が、戦後70年ということ、連載している「平和の俳句」から。「武器はイヤ母は雛から刀狩り」(江戸川区の吉永さん投稿句)を読み、女性(母親)の平和を願う力強さを感じました。

菅野健児(厚木) 私は、元気にダンスに熱中しています。10種目を踊れるように、練習に励んでいます。今年後は期高齢者になります。特典として、市の補助を受け、神奈中バ

スの「かなちゃん手形」を購入し、厚木・伊勢原間の路線内にある名所旧跡、寺社、仏閣巡りをしています。塩原國雄(横浜) 長寿祝、ありがとうございます。

野尻 輝(中井) 中井町老人クラブの役員(体育部長)として、『ゲートボールやパークゴルフの郡や町の大会運営に携わっています。また年、2〜3回の旅行会も楽しんでます。なお、長寿祝をいただきお礼申



懇親会でなごやかなひととき

し上げます。「無事は名馬」で、もう少し人生をエンジョイしたいと思っています。

川井弘次(厚木) 2014年9月21日、自転車で2回転倒。同10月4日、朝・夕、仏さんの供え物を落とす(左手の握力が弱い)。同7日、県央懇話会(町田から厚木までの県職員OB会)、体調不良で早退。帰りに2回倒れる。男女の若者に送っ

てもらう。同8日、医療生協あつぎ診療所で問診。東名病院脳外科を紹介される。10日、東名病院脳外科で手術。病名「慢性硬膜下血腫」。入院1週間の予定が2週間に。10月21日退院。1月19日、3カ月検診、治癒。2月12日、テーブルの角に左後頭部を激突、家中、血の海。意識、記憶なし。同13日、血が止まったのでかたづけ。布団等は洗濯しても血は落ちない。右手使えず。同16日、東名病院脳外科で4針縫う。同23日、治癒。現在、医療生協あつぎ診療所で高血圧治療、ふたば整形外科治療トリハビリ、また眼科、歯科、東名病院で治療中。

宮崎暉子(静岡県伊東市) 今年は79歳。長寿祝、ありがとうございます。来年元元なら、総会に出席したく思います。組合から勧められた年金者組合に転居しても入り、楽しんでいきます。退職して20年、世の中ずいぶん変わって、福祉も年金もカット。何より、若い人たちのためにも戦争法に反対。

佐藤榮一(静岡県富士宮市) 戦争が出来る国づくりが始まろうとして不安ですが、憲法9条が今年もまたノーベル平和賞候補に挙がったことに、勇気づけられました。

佐藤喜治(横浜) 長寿祝、ありがとうございます。組織は、①人材、②人材、③人在、④人罪。自分の該当番号は?。個人は、①自己実現、②家庭平和、③仕事(学業)勤勉、④ボランティア活動。自分の該当番

号は?。こだま会の「歴史教室」は教養・知識を学び「自分探し」のお手伝いを目指しています。

山本正子(逗子) 元気にしています。よろしくお願い致します。三井光子(横浜) 長寿祝品、有難うございました。退職して17年もち、改めて月日の速さに驚きとともに、こだま会に入会して良かったと思っています。

豊田幸子(大井) ここ何カ月か、孫の子守りをして過ごしています。島田多嘉子(横浜) 長寿祝、ありがとうございます。自分の足で最後まで歩きたいと願って、ノルデックウォーキングを始めました。

小山直次(相模原) 長寿祝をいただき、ありがとうございます。元気で地域のボランティアや農作業で過ごしています。

雨宮和雄(海老名) 長寿祝品、ありがとうございます。年金の引き下げ、諸物価の値上がり、地震、火山の噴火など先々の不安材料が多く、心配です。私はとりあえず元気に、山仕事の会、「森の楽校」等、ボランティアに参加しています。

湯川 勉(二宮) 長寿祝、ありがとうございます。すでに両親、弟亡く、妹も末期がんで、私一人が長らえるようです。もう、自分のことだけをと頑張っていますが、いくつかのかわりは捨てがたく、続いています。家族、高齢者について、福祉の研究テーマとして学んでいきたいと思っています。

第60回
歴史教室
(講義)

小田原北条氏五代 (2)

小田原落城

県庁本庁舎6階会議室で6月18日、13時30分から15時30分。講師は生方武羅夫氏。出席者は7人。

はじめに

小田原北条氏は、五代500年続いた。戦国時代を開き、関東・伊豆に覇を誇った。小田原城落城で終焉を迎える。

北条・徳川同盟と豊臣・徳川同盟 天正10年(1582)、甲州(山梨県)に進攻した北条氏は、徳川家康と和議を結ぶ。一方で、家康は豊臣秀吉と同盟を結んでいる(天正14年・1586年)。

北条氏は、豊臣・徳川を敵に回すことになる。会津伊達正宗の援軍を

待ちながら。

秀吉の関東制圧へ

秀吉は、北国(上杉景勝)

を制圧し、次は東国と北条氏

に上洛を命じた。しかし五代

氏直は、上洛を引き伸ばし、

秀吉の怒りを買ひ、北条氏制

圧の決断が下された(天正17

年・1589年)。

北条氏の対秀吉戦略

北条氏は、小田原城と関東

一円の出城(百か城)の籠城

を決した。長期戦である。

小田原城の構造

小田原城は日本一の巨城

で、堅固を誇っていた。東西

5^キ、南北7^キ、周囲20^キ。城下を

包む大土居(土塁)を構え、濠の他

に巨大な空堀(深さ10^ミ)をめぐらしていた。

小田原城の攻防

多勢に無勢(秀吉21万人、北条3

万4000人)。秀吉軍の財力(一



小田原城

3カ月余り(百日)で、小田原城の無血開城に至る。

まとめ

良政(年貢の四六六民など)を誇った北条氏の決断の優柔が悔やまれる。上洛の引き伸ばしや、籠城の評議である(小田原評定)。救いは、

小田原城の無血開城と、氏規(氏政の弟)の生き残りである。氏規の子

氏盛は、外様大名として江戸時代を

生きた。

終わりに拙句を

北条五代よ孫子を学ぶ梅雨晴間

(湯川 勉)

〔訂正とお詫び〕

本紙前号(108号)7面「歴史

教室」の2段6行目の「故中村猪一

郎前講師」を「中村猪一郎前講師」

に訂正し、お詫びいたします。中村

猪一郎氏はご健在で、お元気に活躍

されています。

夜城建造、兵糧攻めなど)に北条氏は持ちこたえられず、秀吉出陣から

予告!! 予告!! 予告!!

●第61回歴史教室(散策)

テーマ 小田原城総構を歩く

とき 2015年9月30日(水)雨天中止

集合 JR「小田原駅」改札口前(午前10時・時間厳守)

会費 500円(交通費各自負担)

講師 生方武羅夫会員

申込先 こだま会事務所045(212)3179

または佐藤喜治045(361)0112

●俳句サークル「こだま句会」

月例会(毎月第2木曜日13時~)

9月10日 10月8日

ところ 県庁本庁舎6階共用会議室

指導 太田土男先生(俳人協会)

会費 800円

申込先 こだま会事務所045(212)3179

または井村友彦0463(81)4493

●楽しい料理教室

とき 11月中旬(土)11時~(予定)

ところ 「男女共同参画センター横浜南フォーラム南太田」(京急「南太田駅」徒歩4分)(予定)

テーマ 未定

会費 2000円

申込先 こだま会事務所045(212)3179

●食文化を楽しむ会(薬膳料理)

とき 11月中旬

ところ 未定

講師 亀井禎子会員

申込先 こだま会事務所045(212)3179

または亀井禎子045(332)4601

●てく・テクの会「浜岡原発見学バスツアー」

とき 11月18日(水)~19日(木)

集合 かながわ県民センター前に8時30分(横浜駅西口徒歩5分)

日程 11月18日横浜駅西口9時出発→御前崎で昼食→浜岡原発視察→焼津泊

11月19日宿出発→焼津さかなセンター→久能山東照宮(日本平)→三保の松原→横浜西口17時予定。その他に松尾芭蕉の俳句や歌川広重の東海道五十三次で有名な丸子宿

焼津グランドホテル予定

宿泊先 焼津グランドホテル予定

参加費 2万1000円(バス・宿泊費・保険等)前後の予定

申込先 こだま会事務所045(212)3179

Fax 045(212)3178

「こだま俳壇」(7月)

夏の雲工事現場の国なまり

島田多嘉子

いつからを余生と言うや梅雨の空

鈴木志げ子

状差しを占拠している古団扇

鳥海 敏雄

庭先の草すれすれに梅雨の蝶

横川美代子

曲る腰団扇がゆれる盆踊り

中村 桂子

古民家のへつつい傍流うちわ

木村 武子

佐久平すつぽり抜けて雲の峰

田中 一男

飯台や団扇で母のお手伝

三井 光子

天守より蓮の花を探しけり

松尾佐知子

山間の青田つんつん天を刺す

柳瀬 節子

雲の峰北斎の籠登りけり

友井 眞言

よしきりや土地整備田は葦原に

小川 水草

「それから」の三千代の膝の団扇かな

坂 守

無造作に母の団扇の置かれあり

高橋 和江

夏の鯉と遊んでおりぬ無言劇

井村 友彦

夏風に操られてるばらの花

白井保次郎

沖繩忌力合わせて力とす

太田 士男

食文化を楽しむ会

夏を乗り切る

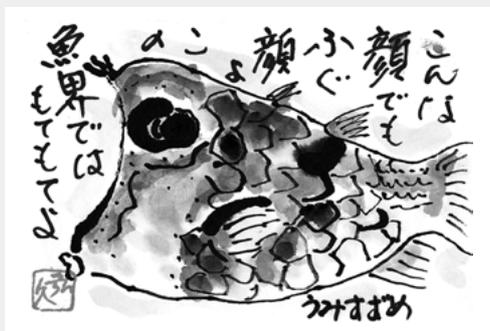
薬膳料理に挑戦

梅雨が明けて一気に「夏本番」。

涼しいはずの夕刻もじっとりした暑さに参ります。で、それを乗り越える「薬膳料理教室」を7月23日、横浜市西地区センターで行いました。参加者は5人。

献立は、「党参、枝豆、梅肉入りご飯」「玉竹液、きゅうりのスープ」「鶏肉の甘酢和え、蒸茄子添え」「金針菜の五目煮」「青菜としめじの胡麻和え」「プチトマトとレモンの爽やかデザート」と豪華、満腹の6品。各々つくりたい献立に挑戦、約1時間半でできあがり。

絵手紙



奥津弘久さんの作品

豪華な料理が出来上がりました



亀井さんの話に納得

夏はどうしても「冷飲冷房」になりがちで、体が冷え、消化酵素の働きが弱り夏バテの原因になる、そこ

手づくり文化祭のご案内
—神奈川自治労連
退職者会主催—

絵画・写真・絵手紙・陶芸・俳句・短歌・出し物(合唱・フラダンス等々)、気軽にご応募を

と き: 10月31日(土)
と ころ: 横浜市従会館
(桜木町下車)

申込締切: 10月20日(火)までに「こだま会」事務所へ(搬入も) 申 込 先:

こだま会事務所
045 (212) 3179



でエネルギーの消耗を補う、特に体液・ミネラルの補給がポイント。食事を通して水分が多く含まれる野菜(緑豆、レタス、苦瓜、茄子、トマトなど)と貝柱、うなぎ、アサリ、牛乳、豚肉、卵などタンパク質をバランスよく献立にすることが不可欠。金針菜(きんしんさい): ユリ科のカンゾウの花蕾を蒸して乾燥させたもの。鉄分はホウレン草の約6倍、貧血の改善、利尿、血液浄化、精神安定、不眠症改善、乳腺炎、関節炎に効果があるといわれています。今回も、亀井禎子さんのお世話で楽しくいただきました。

(鳥居伸太郎)

会報No.109
2015. 8. 15

編集・発行
神奈川県職労連退職者こだま会
発行人 植木眞理子

〒231-8588
横浜市中央区日本大通り1
県庁本庁舎6階

TEL 045-212-3179 (代表)
FAX 045-212-3178 (代表)
URL http://kodamakai.sakura.ne.jp/